



2012年度 セキュリティ市場調査 結果の速報

セキュリティ市場調査WG

勝見 勉

&WGの仲間たち

2013年 1 月25日

Network Security Forum 2013

2012年度の調査の概要



JNSA独自・自主事業

(2009年度までMETI委託事業)

目的:

- マーケットと産業の姿を示す
- 同じ統計ベースのデータを継続提供する
- 特に会員企業の事業参考用

調査概要:

- 調査活動期間: 2012年6月～現在も継続中
- 調査方法: アンケート調査 各種統計・調査資料の参照
企業の事業概要・規模推定(対象数:約380社)
主要企業個別ヒアリング(対象数:20社程度。これから実施)
- アンケート調査: 2012年9月 会員企業限定 eメールベース
回収数: 25/147件 回収率17% (前回:34/160,21%)
- 調査対象期間: 2010, 2011年度実績 2012年度見込み 2013年度予測

市場区分の定義



2012年度は検討の結果、市場区分の見直しはなかった。

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルティング	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

国内情報セキュリティ市場規模の概観



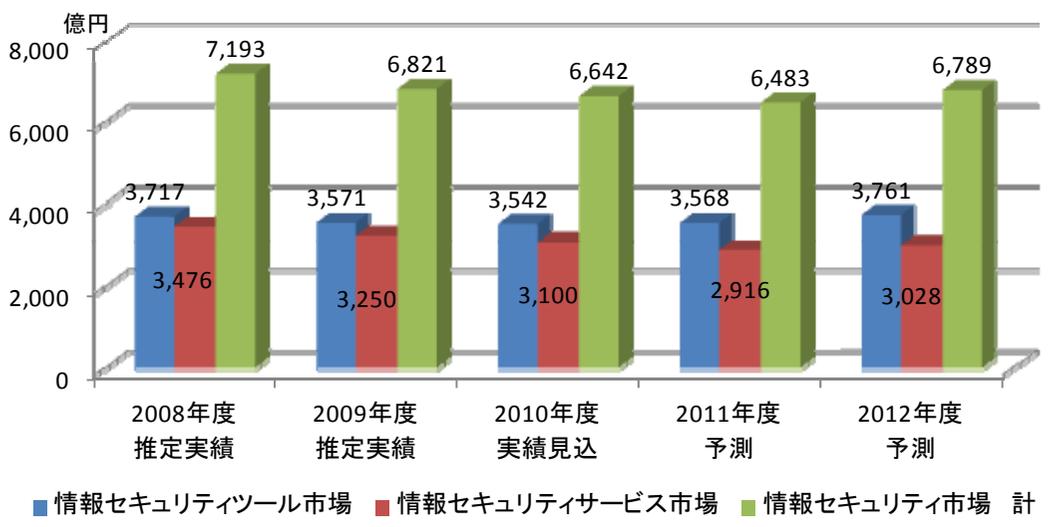
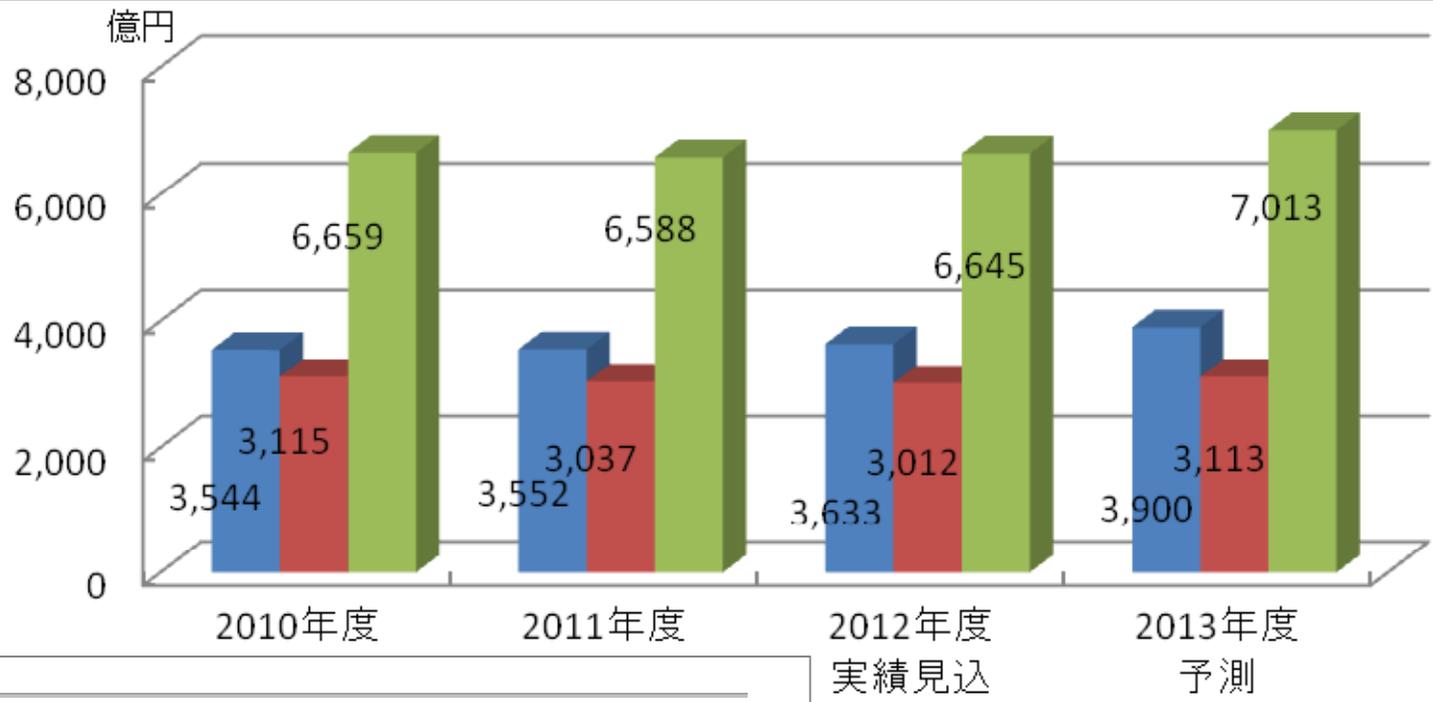
年度別売上高推計値 セキュリティ・ツール	2010年度		2011年度			2012年度			2013年度		
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	18,838	5.3%	18,645	5.2%	-1.0%	18,822	5.2%	0.9%	19,776	5.1%	5.1%
ネットワーク脅威対策製品	48,644	13.7%	48,089	13.5%	-1.1%	48,130	13.2%	0.1%	50,174	12.9%	4.2%
コンテンツセキュリティ対策製品	136,437	38.5%	137,378	38.7%	0.7%	142,641	39.3%	3.8%	156,602	40.2%	9.8%
アイデンティティ・アクセス管理製品	63,642	18.0%	63,321	17.8%	-0.5%	63,537	17.5%	0.3%	66,457	17.0%	4.6%
システムセキュリティ管理製品	49,482	14.0%	49,437	13.9%	-0.1%	50,558	13.9%	2.3%	55,852	14.3%	10.5%
暗号化製品	37,335	10.5%	38,281	10.8%	2.5%	39,661	10.9%	3.6%	41,173	10.6%	3.8%
セキュリティツール市場合計	354,378	100.0%	355,151	100.0%	0.2%	363,348	100.0%	2.3%	390,036	100.0%	7.3%

年度別売上高推計値 セキュリティ・サービス	2010年度		2011年度			2012年度			2013年度		
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルテーション	66,416	21.3%	60,245	19.8%	-9.3%	57,044	18.9%	-5.3%	57,754	18.6%	1.2%
セキュアシステム構築サービス	122,168	39.2%	118,489	39.0%	-3.0%	119,077	39.5%	0.5%	122,931	39.5%	3.2%
セキュリティ運用・管理サービス	91,858	29.5%	94,058	31.0%	2.4%	95,107	31.6%	1.1%	100,098	32.2%	5.2%
情報セキュリティ教育	23,874	7.7%	23,690	7.8%	-0.8%	22,594	7.5%	-4.6%	23,139	7.4%	2.4%
情報セキュリティ保険	7,226	2.3%	7,197	2.4%	-0.4%	7,353	2.4%	2.2%	7,363	2.4%	0.1%
セキュリティサービス市場合計	311,542	100.0%	303,680	100.0%	-2.5%	301,175	100.0%	-0.8%	311,285	100.0%	3.4%

セキュリティツール+サービス	665,920	100.0%	658,831	100.0%	-1.1%	664,524	100.0%	0.9%	701,320	100.0%	5.5%
----------------	---------	--------	---------	--------	-------	---------	--------	------	---------	--------	------

- ✓国内情報セキュリティ市場は約6500億円規模から7000億円規模へ(2008年のピーク7200億円に接近)
- ✓うち、ツールは3500億円規模から拡大の方向。3900億円へ。(2008年のピーク3700億円を上回る)
- ✓サービスは3000→3100億円へ。(2008年のピーク3500億円弱への回復は厳しい。コンサル・Sec構築が頭打ち方向)
- ✓調査対象4年間の年平均成長率は、
セキュリティ市場合計:1.7% ツール市場:3.2% サービス市場:0.0%

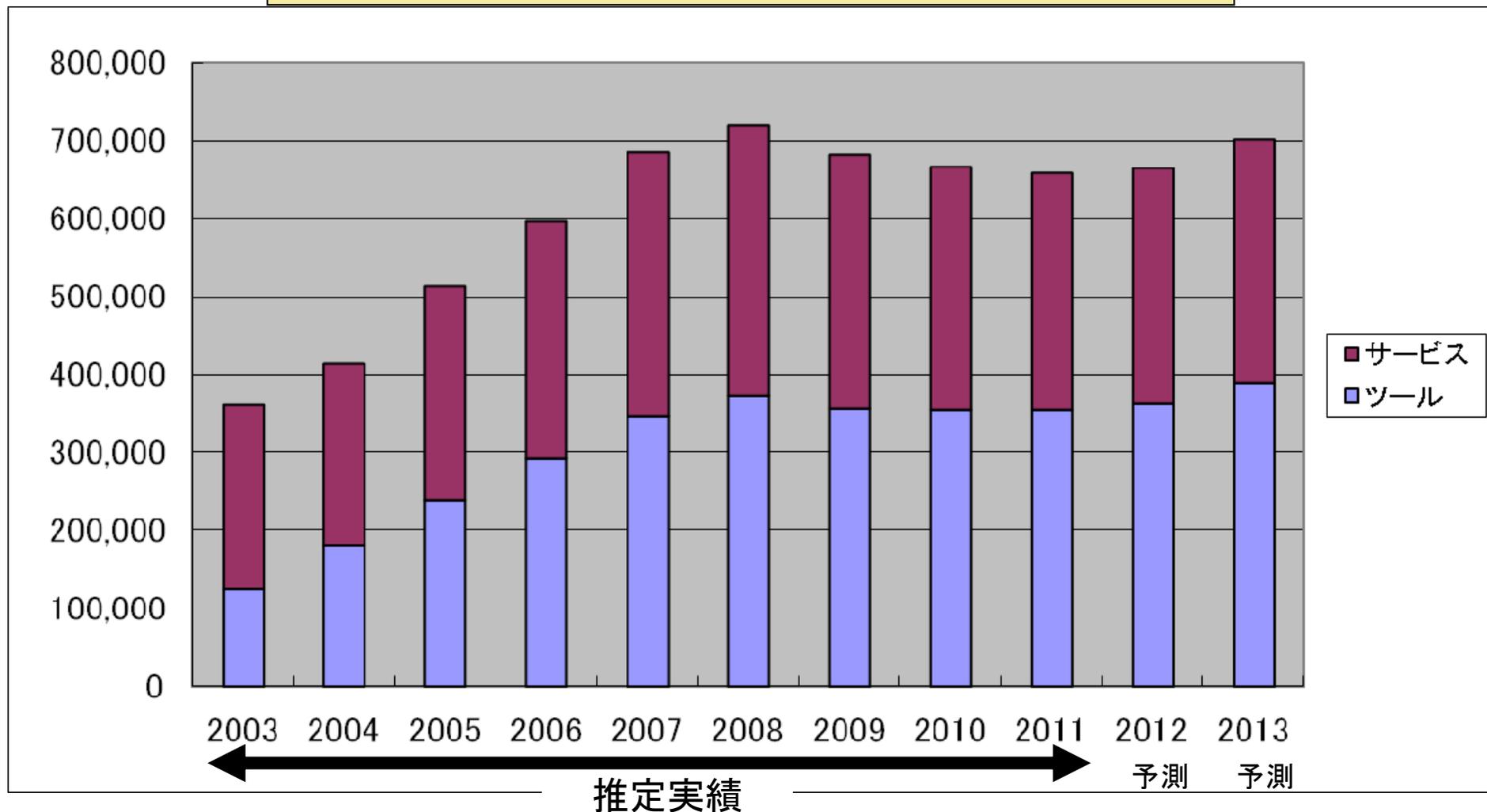
国内情報セキュリティ市場規模の推移



■ サービス市場 ■ 情報セキュリティ市場 計

単位:百万円

日本のセキュリティ市場(全体規模)

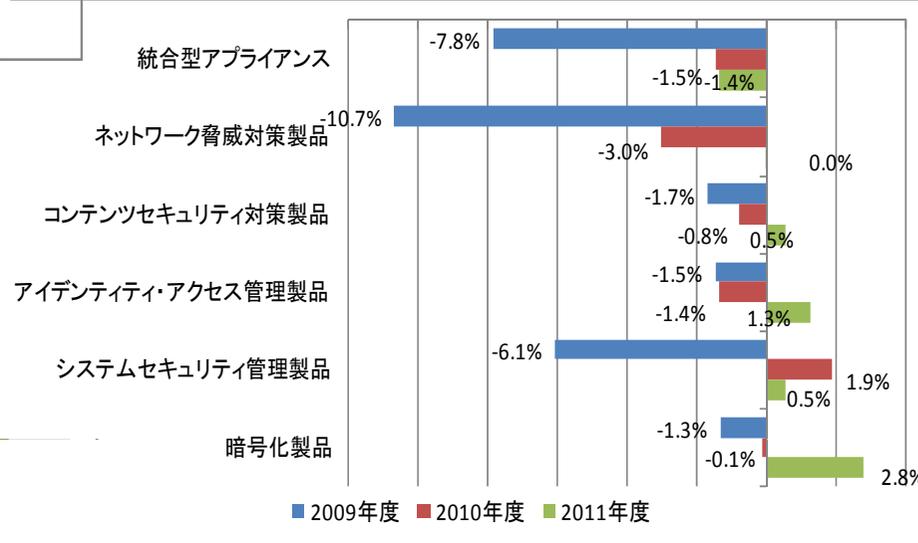
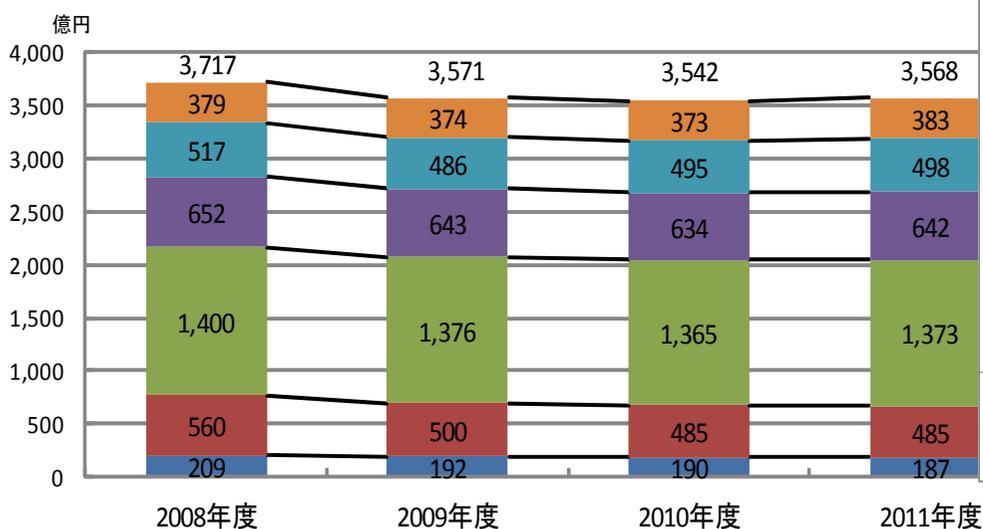
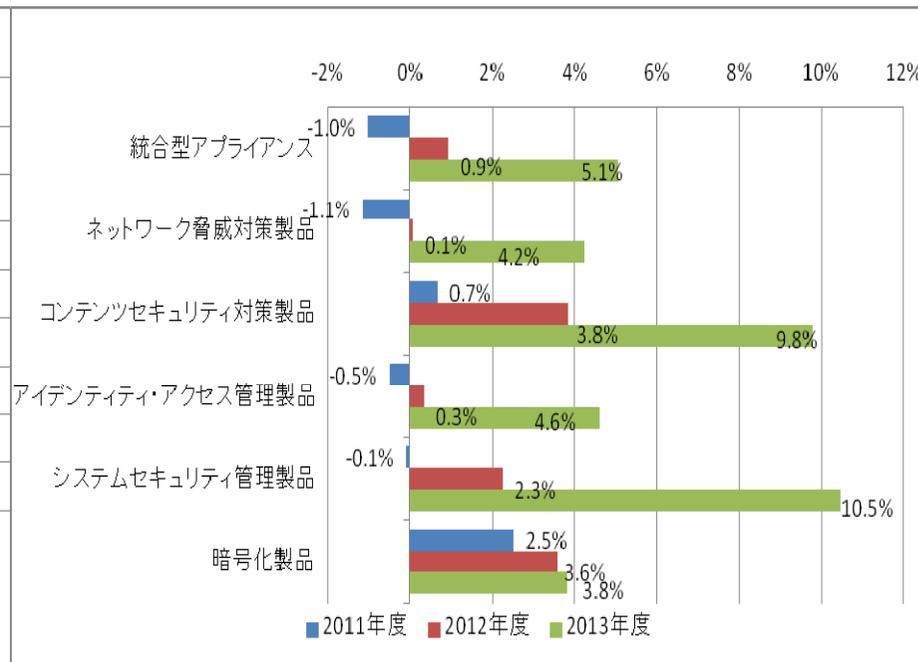
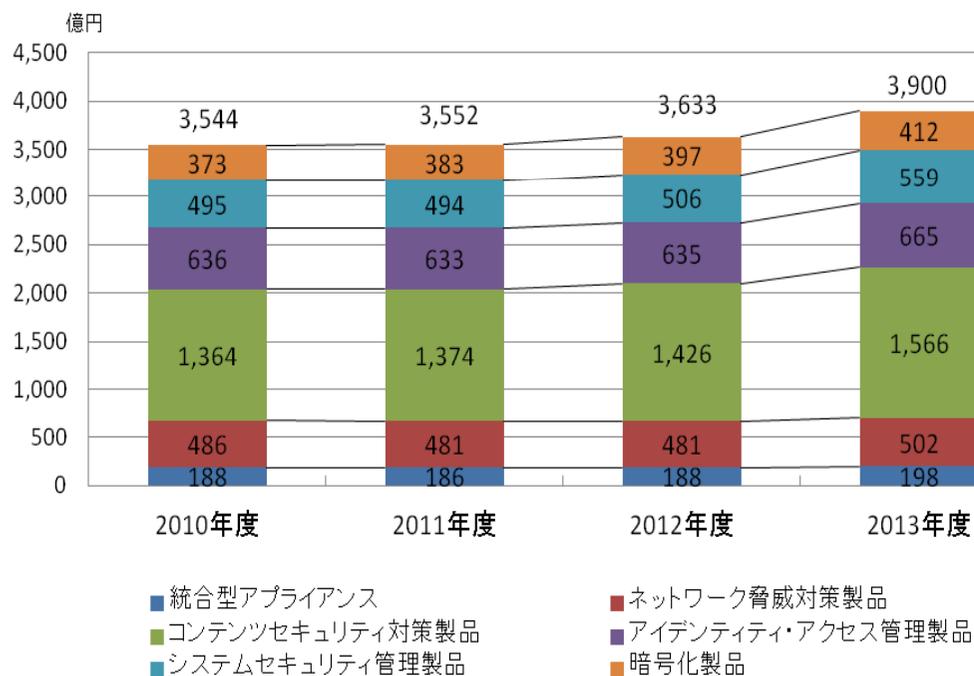


情報セキュリティの供給サイドの構造分析

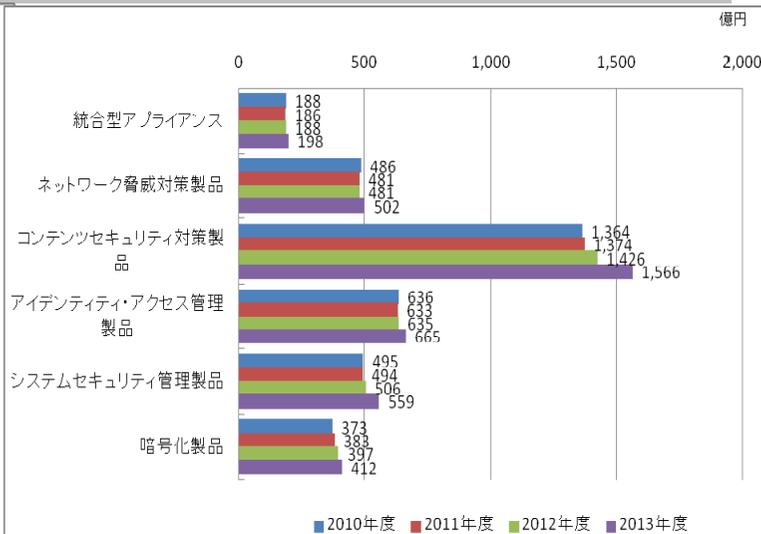
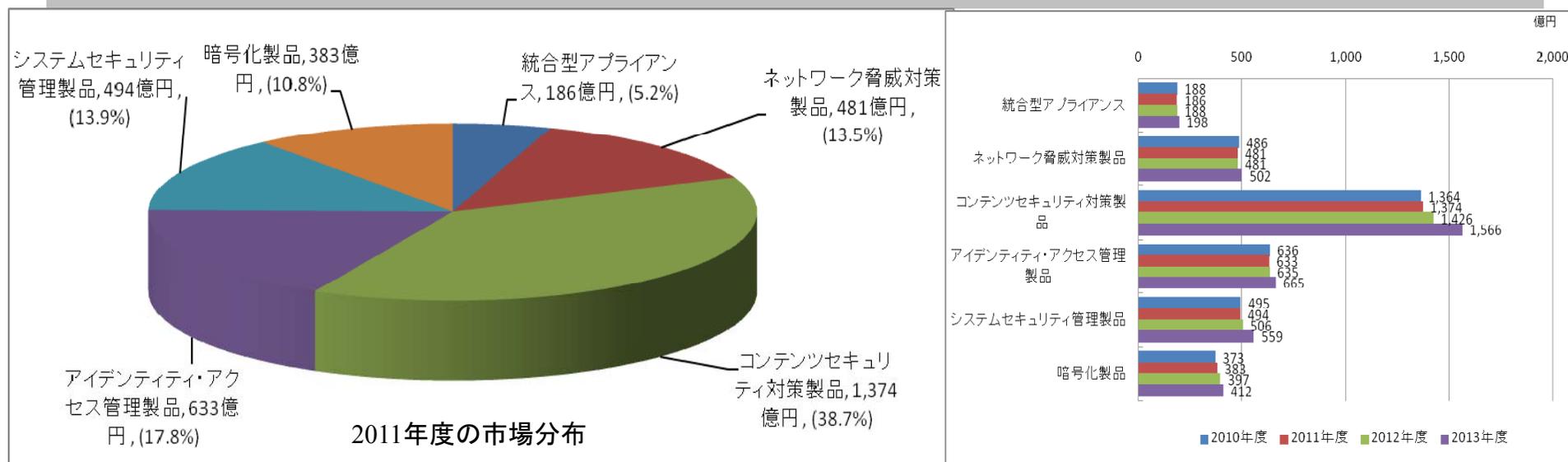
国内情報セキュリティ市場 推計対象企業数と分布	対象企業業態区分								
		海外ベンダ /日本法人	国内ベンダ	流通・販売 業者	SI/NI機能 ありの二 次・三次販 売業者	大手シス テムインテ グレータ	コンサル会 社	サービス 提供事業 者	その他
	合計	A	B	C	D	E	F	G	H
調査推計対象(含:アンケート回答129件)	365	50	74	41	82	21	15	65	17
有効推計対象	353	48	71	39	81	21	15	64	14
情報セキュリティツール全体 (X)	261	48	64	38	65	18	3	19	6
統合型アプライアンス	66	7	6	14	21	11	2	4	1
ネットワーク脅威対策製品	130	23	16	20	40	16	2	11	2
コンテンツセキュリティ対策製品	159	19	38	30	44	14	2	10	2
アイデンティティ・アクセス管理製品	134	13	24	22	51	14	3	7	0
システムセキュリティ管理製品	128	23	22	22	33	14	2	11	1
暗号製品	84	11	14	16	27	10	2	2	2
情報セキュリティサービス全体 (Y)	242	11	35	18	73	20	15	60	10
情報セキュリティコンサルテーション	142	5	9	7	44	16	13	46	2
セキュアシステム構築サービス	126	6	13	8	57	18	5	19	0
セキュリティ運用・管理サービス	155	9	24	13	49	18	7	30	5
情報セキュリティ教育	75	5	3	5	19	7	4	29	3
情報セキュリティ保険	13	0	0	1	2	2	2	2	4
(参考)									
ツール専業 (X∩ [^] Y)	111	37	36	21	8	1	0	4	4
ツール・サービス兼業 (X∩Y)	150	11	28	17	57	17	3	15	2
サービス専業 ([^] X∩Y)	92	0	7	1	16	3	12	45	8
生データベースの売上高分布	100.0%	20.5%	6.3%	5.3%	25.1%	31.6%	3.4%	5.7%	2.1%

- セキュリティツールの供給・流通の主体は海外ベンダ、国内ベンダ、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、大手SIer。国内ベンダの数が急速に増加している。
- セキュリティサービスの供給主体はセキュリティサービス提供事業者、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、国内ベンダ、大手SIer。
- 日本市場ではシステムインテグレータ(D,E区分)の果たす役割が大きい。

国内情報セキュリティツール市場推移

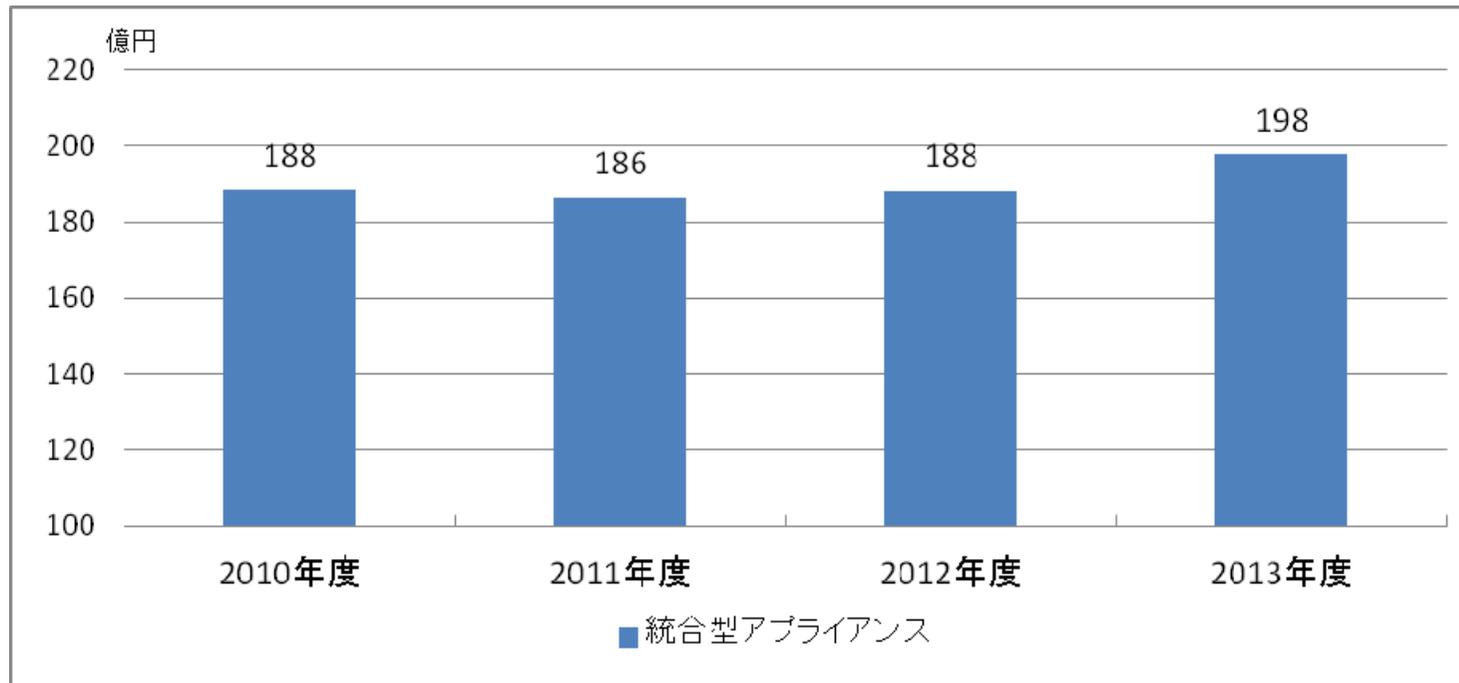


国内情報セキュリティツール市場推移



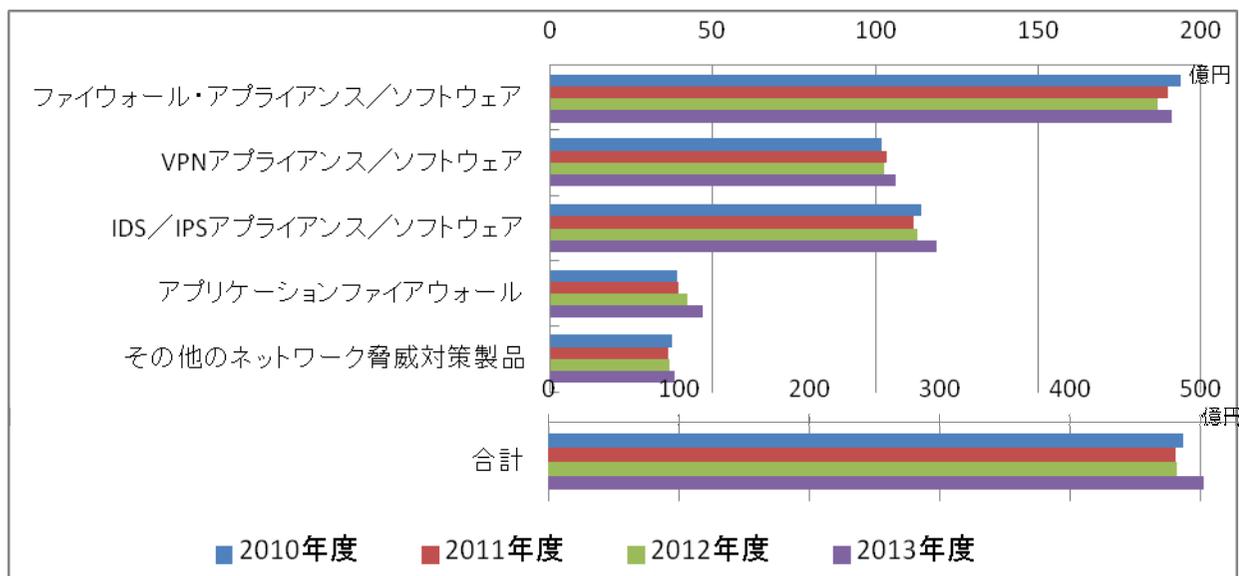
- 全体として2011年度は3550億円程度で市場は横ばい。
- NW脅威対策、統合APLは趨勢として漸減傾向。
- コンテンツセキュリティは市場が成熟している割には堅調に推移。個人向けが底堅く、モバイル関係やDLPが市場拡大期にあることが寄与していると思われる。
- IAM、システム管理は全くの横ばい。
- 暗号はわずかだが市場が拡大した。モバイル、USBメモリ等の寄与があるか？
- 2012年度は、引き続きコンテンツセキュリティが伸び、他も横ばいか微増で、全体して前年比2.3%の成長。
- 2013年は景気回復期待から7.3%増で3900億円に達すると予測した。

統合型アプライアンス(2011年度)

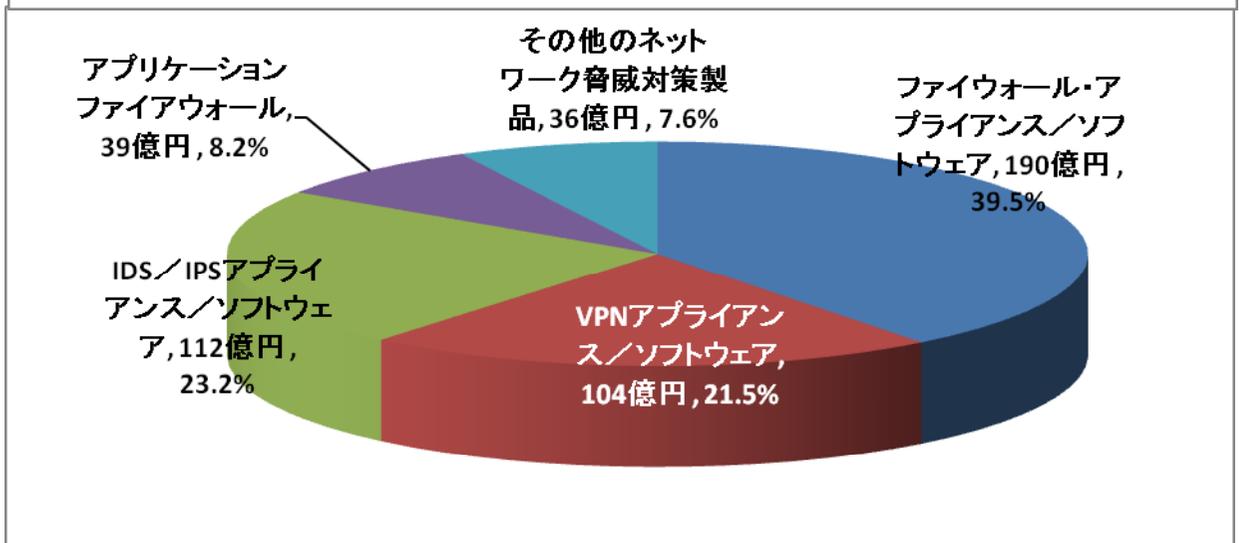


- 2011年度は-1.0%と微減で186億円。
- 2012年度(見込み)は+0.9%とほぼ横ばい圏で2010年並みに戻る。
- 2013年度は5.1%増で198億円まで拡大と予想。
- IT投資サイクルの前回ピークが2007年前後で、2011年ごろから次のサイクルにさしかかっている時期であるが、震災や景気低迷で少し後ずれしていると考えられる。
- ネットワーク関係はこのサイクルが最も影響する分野。

ネットワーク脅威対策製品(2011年度)

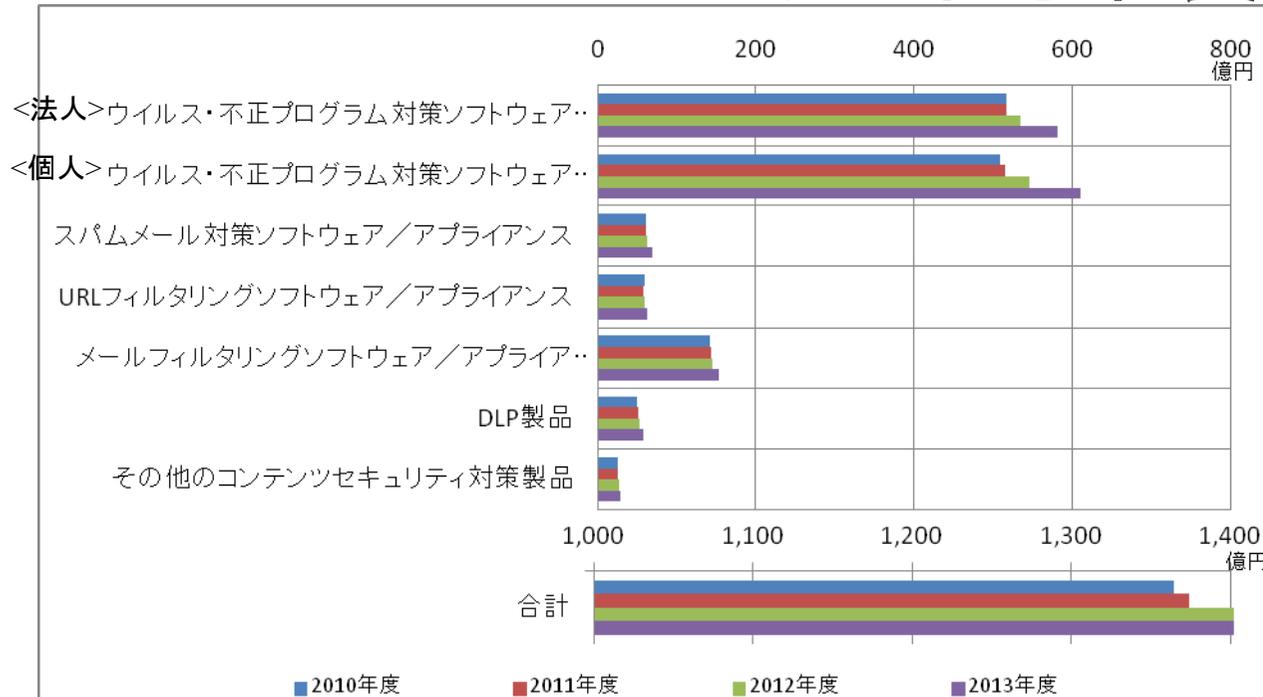


- 2011年度のNW脅威対策製品全体としては統合型APLと同様若干縮小(-1.1%)で481億円。
- FW、IDS/IPSは共に-2.1%。統合型APLと同様投資サイクルのずれ込みによると思われる。
- IDS/IPSは2012年には回復、2013年は5.2%伸びる。標的型等外部脅威の複雑化を反映か。

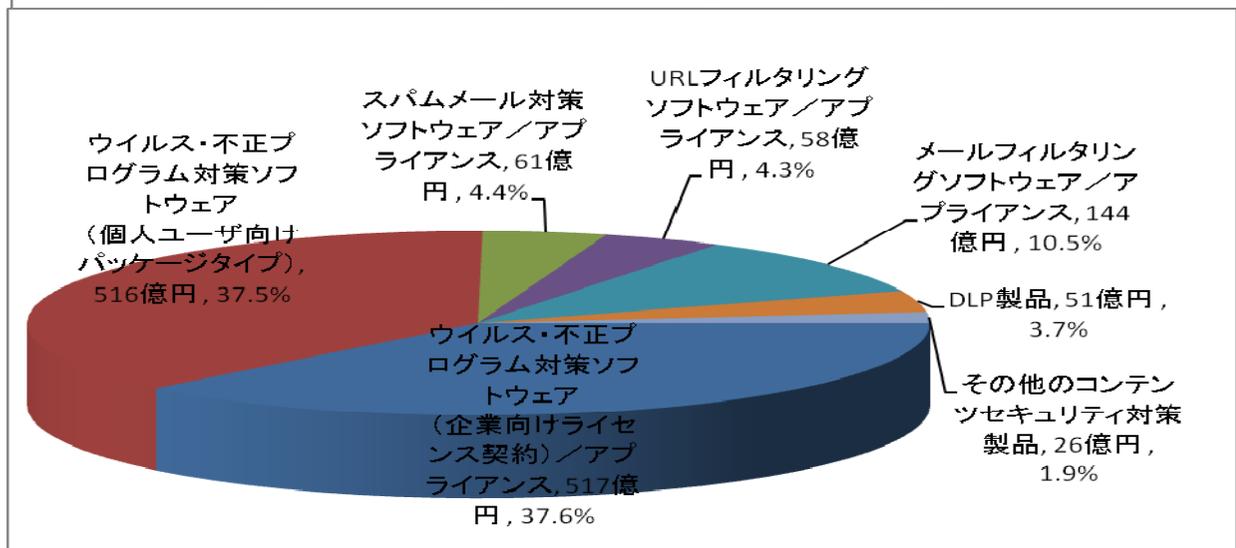


- VPNは2011年度+1.7%と伸びた。2012年度は微減だが、モバイルの浸透に連れて堅調な推移と見られる。
- アプリケーションFWは2011年+0.5%、2012年+7.0%と伸びる。

コンテンツセキュリティ対策製品 (2011年度) **JNSA**



- ウイルス対策ツールは個人向け・法人向けが各515億円規模で拮抗。
- 個人向けは+1.4%とプラス成長を維持。2012年+5.7%、2013年+12.1%伸びて611億円に達する。個人への脅威の実感が浸透する結果か。
- 法人向けウイルス対策ソフトも対策の充実から堅調に拡大傾向。モバイル対策も寄与か。
- 前回からDLPを独立させ、フィッシング対策はその他に統合。
- DLPは50億円規模となり、徐々に拡大の傾向を見せている。
- メール、URLフィルタリングは一部サービスへ移行も。



アイデンティティ・アクセス管理製品

(2011年度)



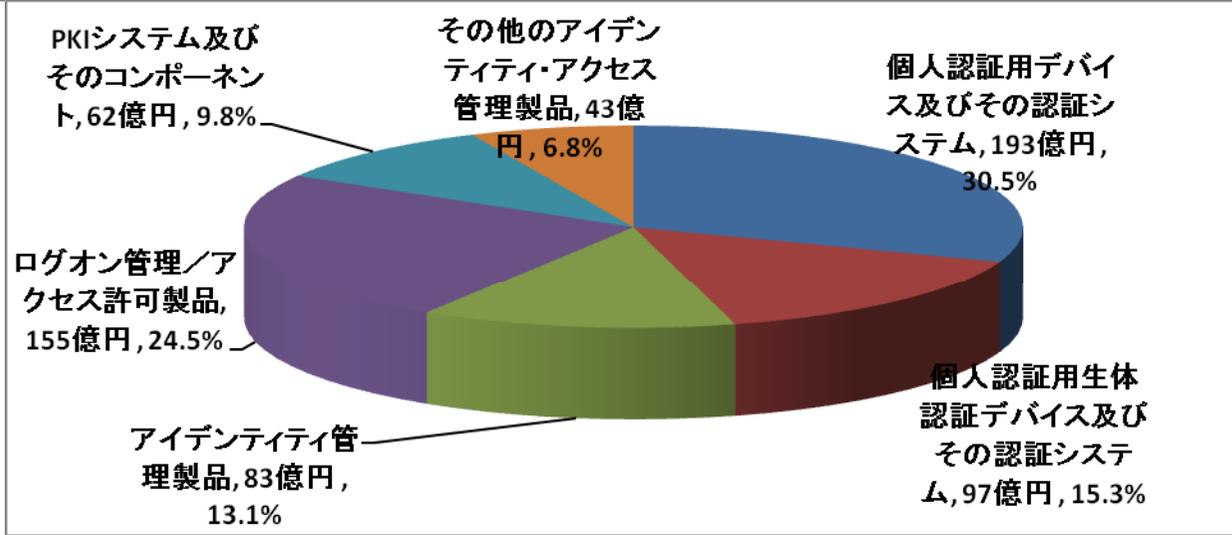
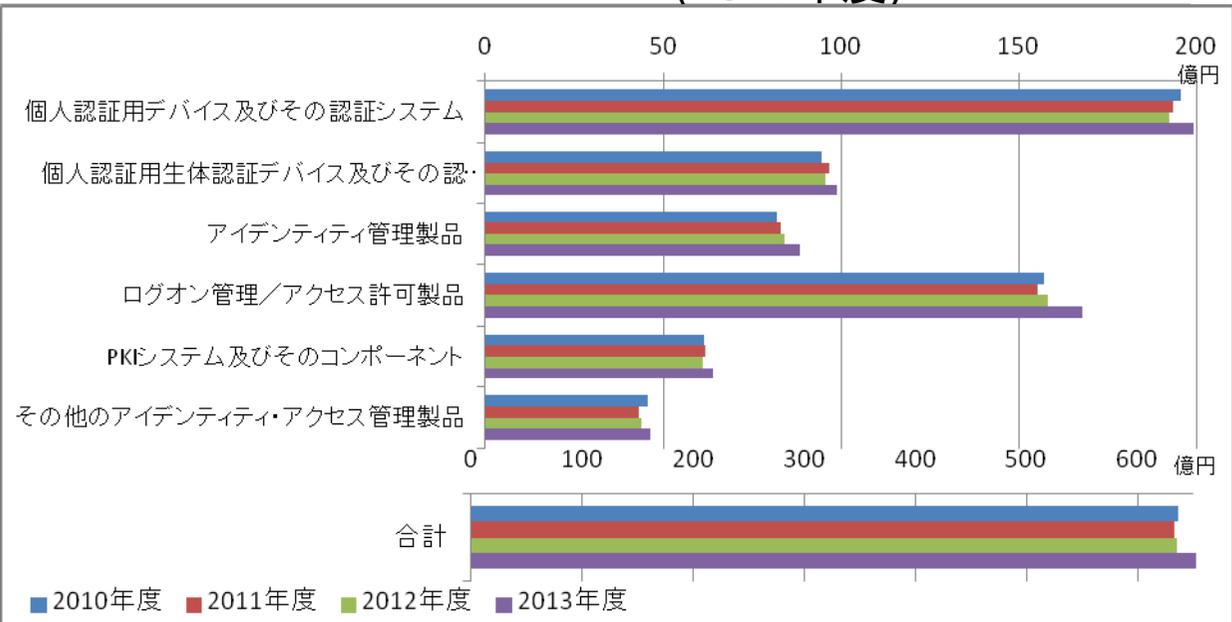
•認証・ID管理系は2011年度は-0.5%とマイナスとなった。JSOX対応が一巡した後の空白期か。

•生体認証は+2.1%と高い伸び(2011年)の後、2012年はやや後退。2013年に盛り返す。

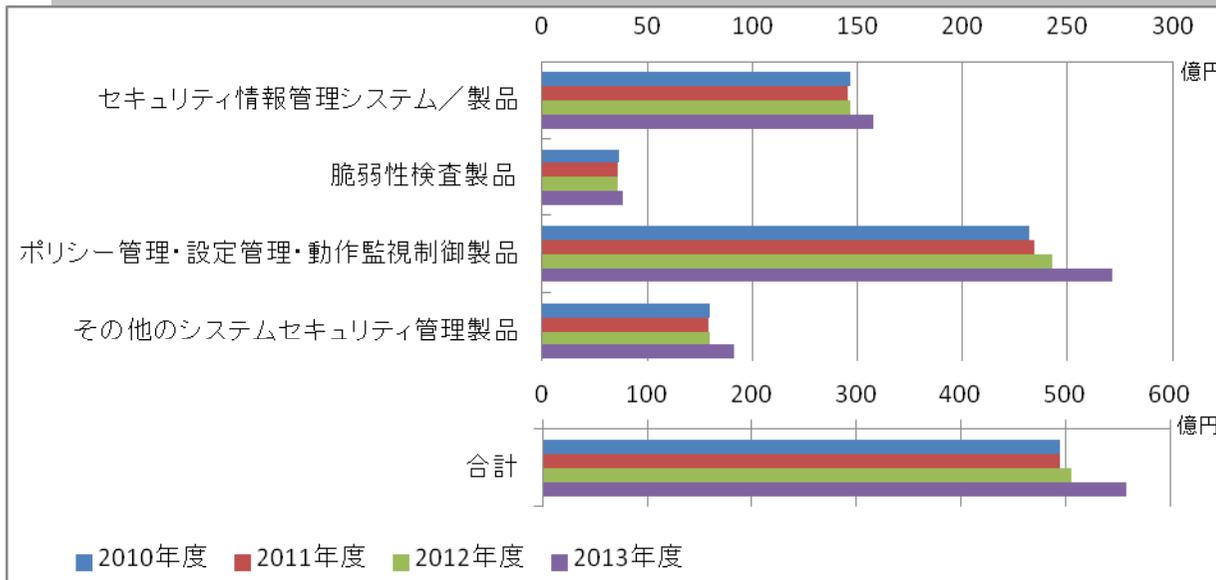
•ID管理、ログオン管理概ね堅調な推移。

•PKIシステムもほぼ横ばい圏で推移。

•IAMは情報資産管理の基本になることから、収益動向に比較的左右されにくい堅調な推移を見せるセグメントと考えられる。



システムセキュリティ管理製品(2011年度)

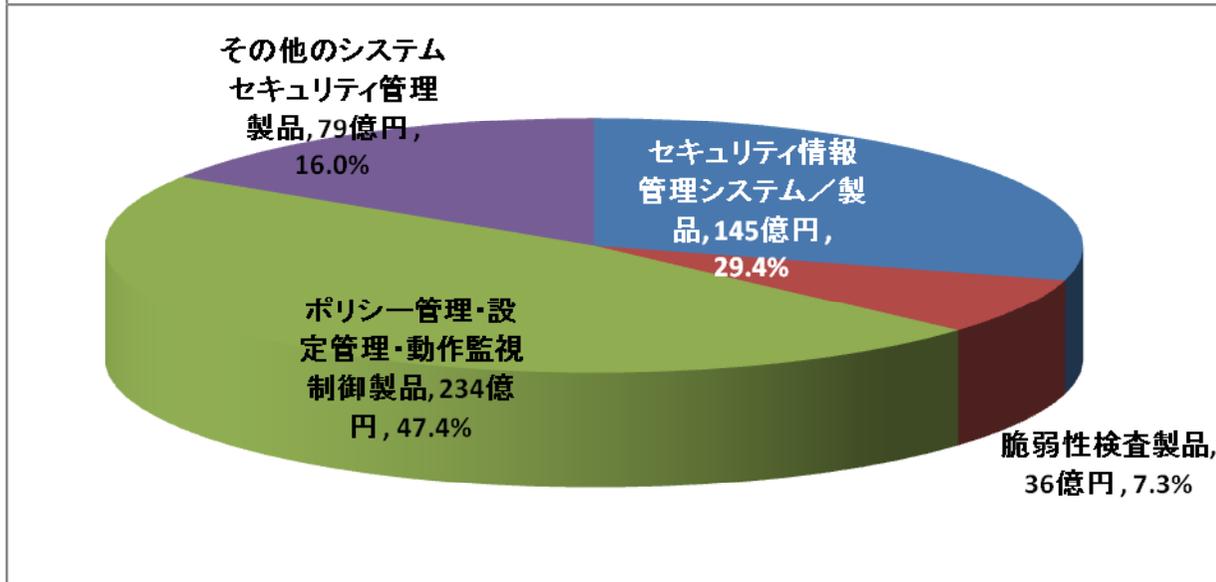


●端末のポリシー順守の管理や動作の監視・制御用ツール、検疫NW製品を含む「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」が+1.0%だったほかはマイナスとなり全体でも-0.1%だった。

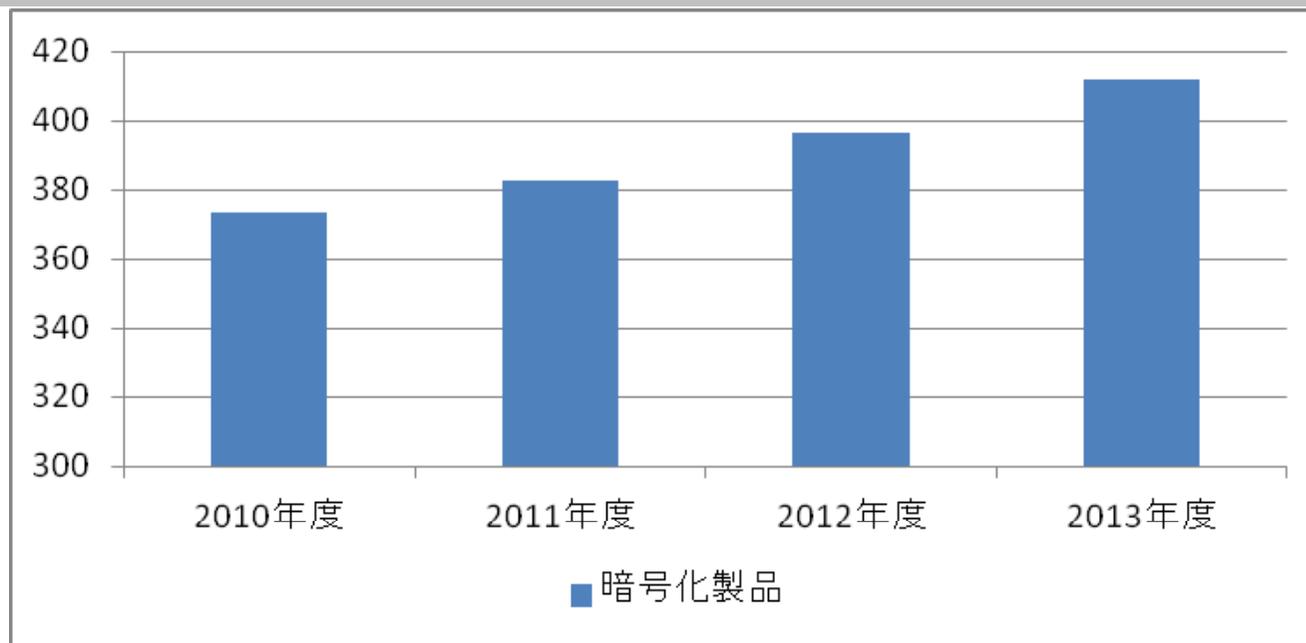
●SIM/SEM製品、ぜい弱性検査製品はNW投資に左右されるため投資抑制の下ではマイナスとなる。

●全体として500億円割れが続いたが、2012年には506億円に回復する模様。2008年のピークに接近する。

●NW脅威とコンプライアンスの両面で採用拡大傾向は続く。

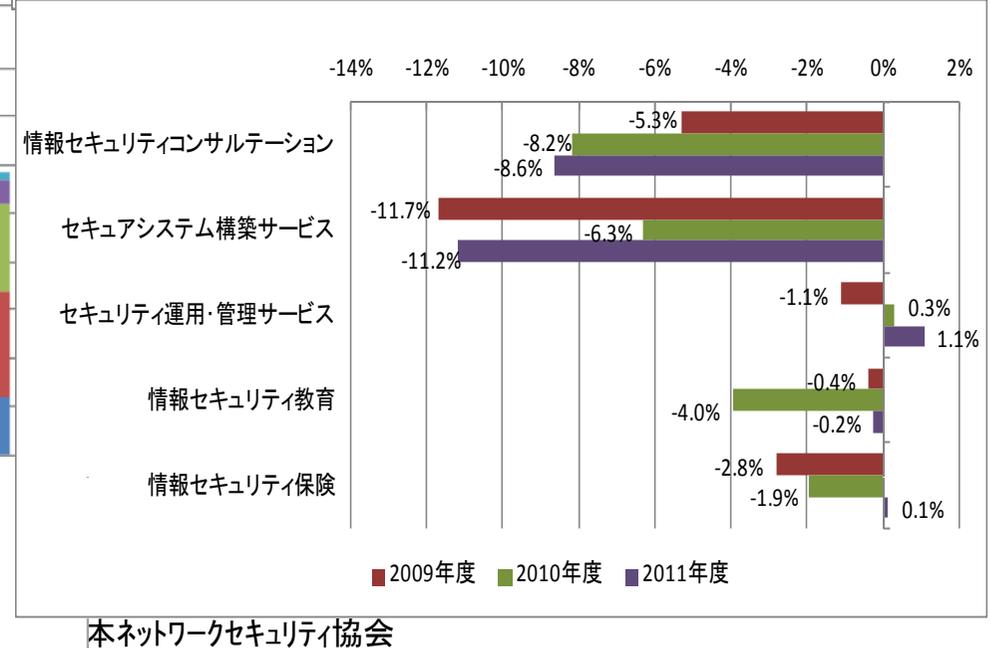
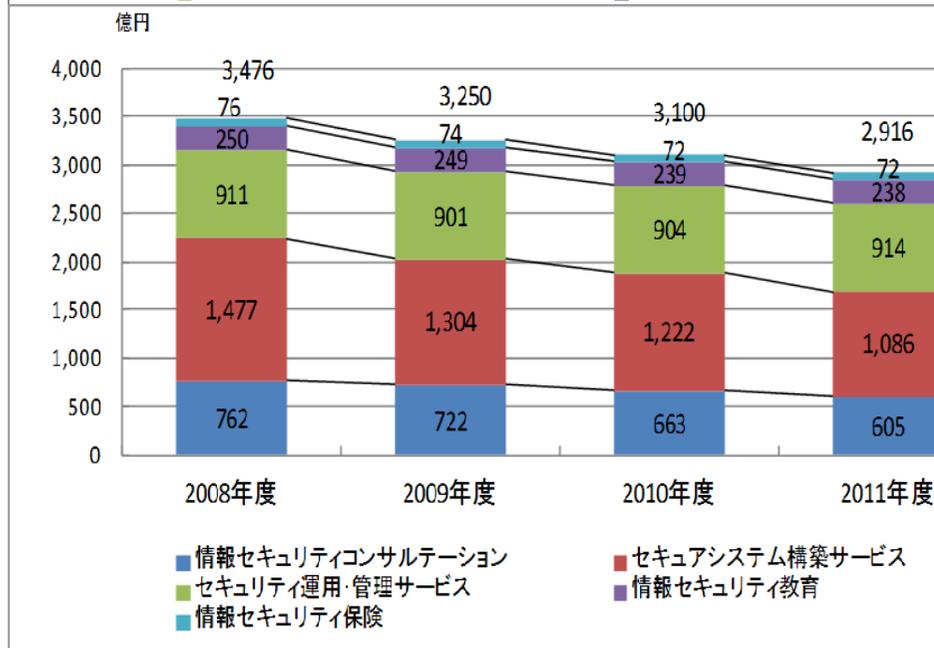
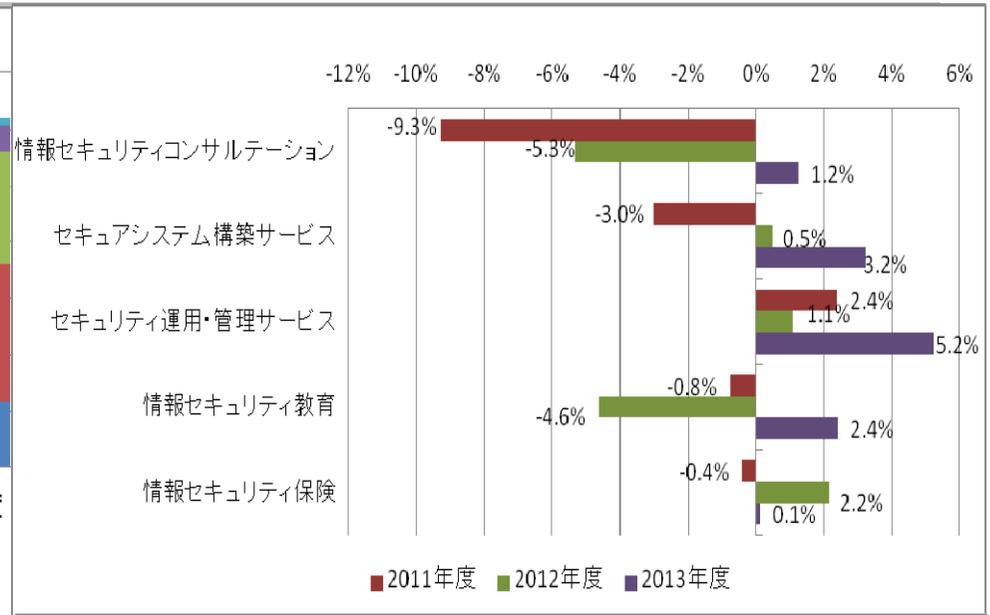
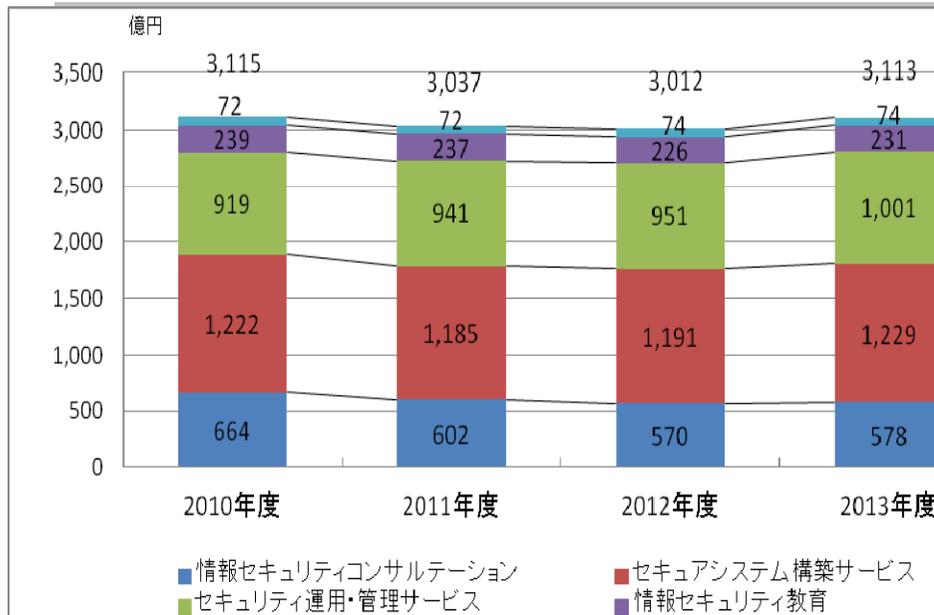


暗号化製品(2011年度)

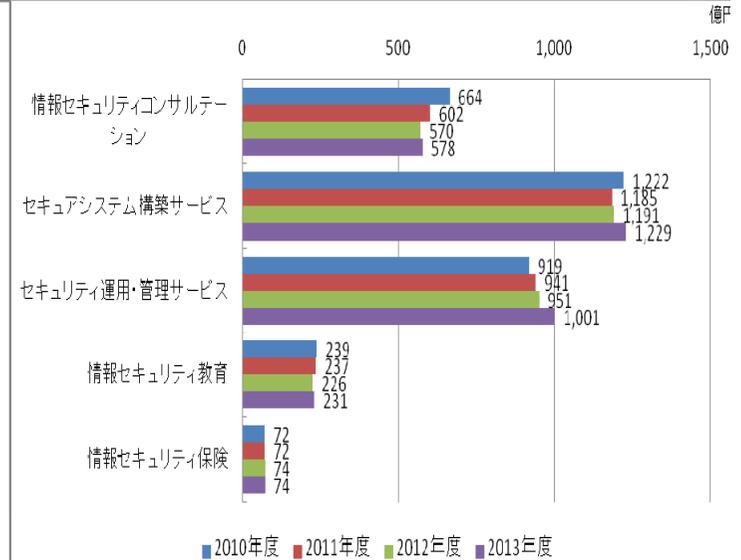
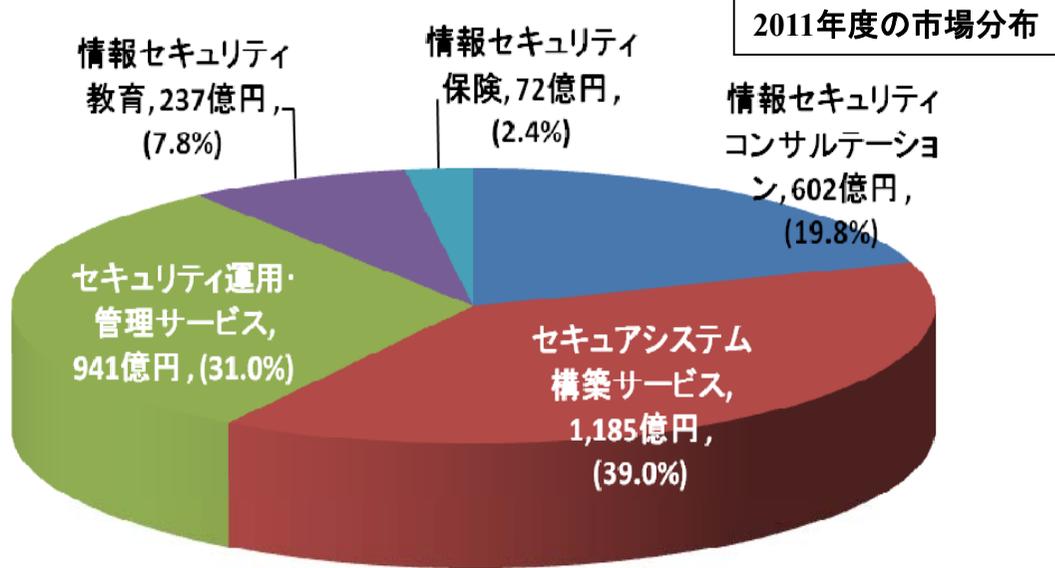


- 前回から、中分類レベルの市場区分をなくし、単一市場区分とした。
- ほとんどがデータ暗号化製品であるため。
- 2011年は+2.5%、2012年+3.6%、2013年+3.8%と、ステディに拡大傾向をたどると見られる。2008-2011年の後退局面でも、最も縮小率が軽微だった。
- 情報漏えい対策、知的財産保護対策としての暗号化利用が着実に浸透している結果と考えられる。

情報セキュリティサービス市場推移



情報セキュリティサービス市場推移

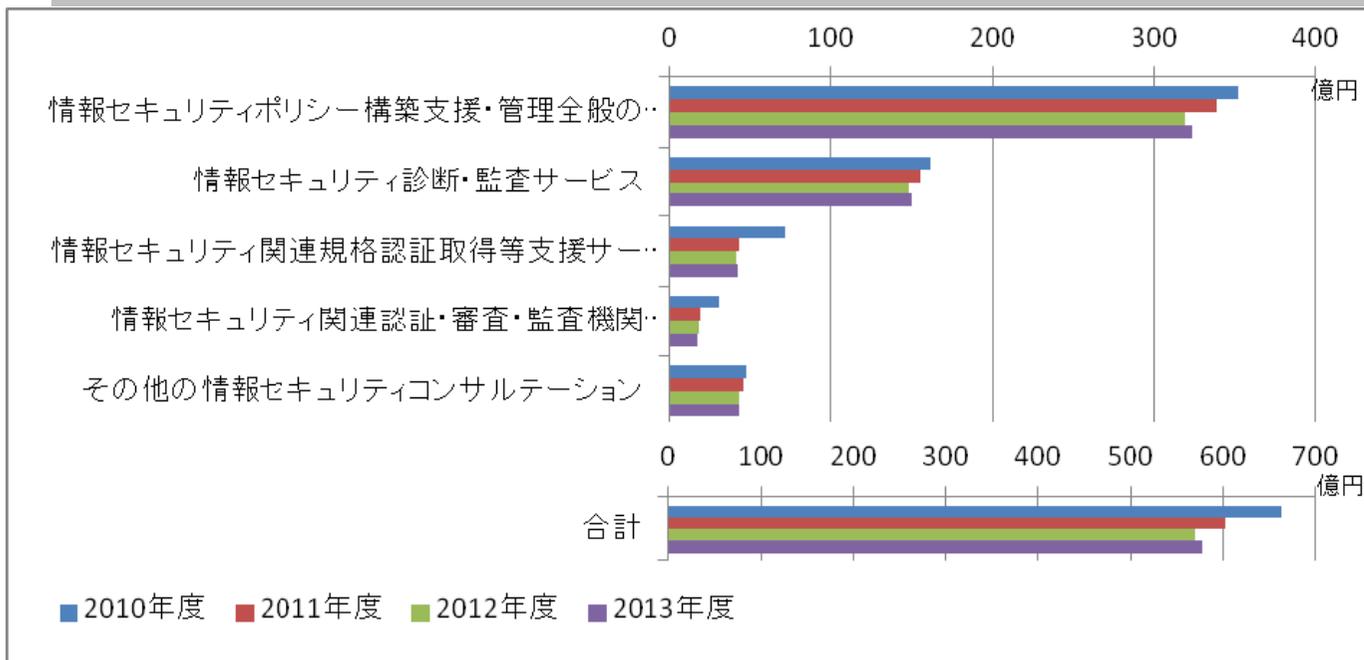


- システム構築サービスが最大セグメント。
- セキュアシステム目的の構築需要は縮小傾向だったが、2012,2013と下げ止まりの兆候も。
- 認証取得を中心にコンサルティングも縮小傾向。
- 運用・管理サービスは堅調な推移。2013年度には1000億円に達するか？
- 全体としては、2011,2012年度を底に回復に向かうと期待される。
- 2013年度は3000億円に戻し、2010年度並みに。
- 牽引役はシステム構築と運用・管理サービス。
- ただし、サービスの構成比は2010～2013:46.8%⇒46.1%⇒45.3%⇒44.4%と漸減傾向。

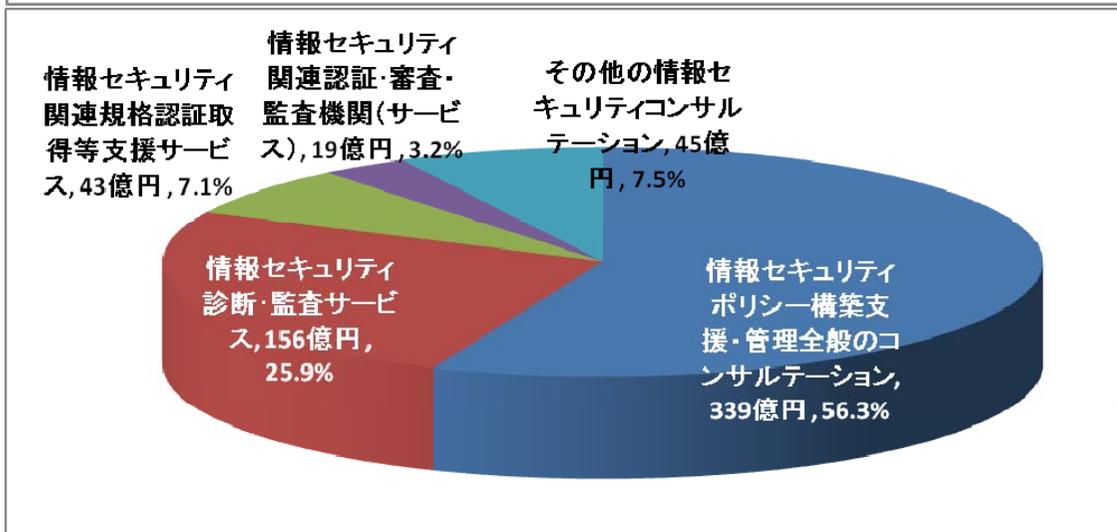
情報セキュリティコンサルテーション



(2011年度)

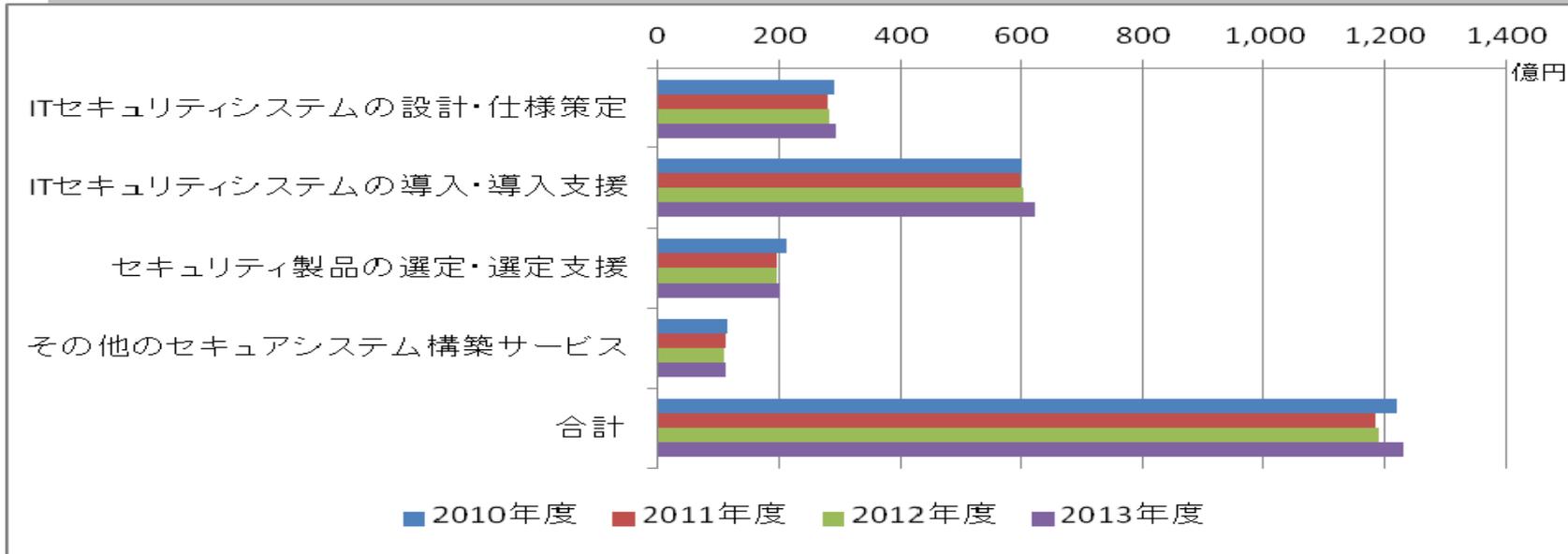


- ISMS、PM等認証取得コンサルが大幅な落込み。つれて審査機関のサービスも激減
- 特に2011年が顕著。2012年も縮小が続き、2013年度に下げ止まるか
- 2010～2013年度平均で各16%以上の減。

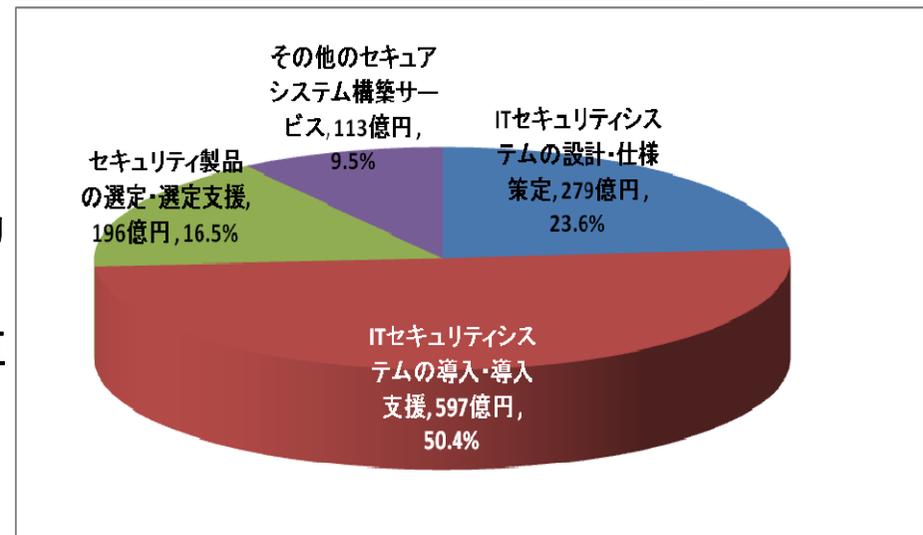


- ポリシー構築・セキュリティ全般コンサルは景気低迷で低迷。2013年度には持ち直し。
- 標的型攻撃の深刻化、クラウド、モバイル等でポリシー再構築ニーズは高まるか。
- 診断・監査サービスも同様の理由で低迷→下げ止まり→回復のシナリオへ。

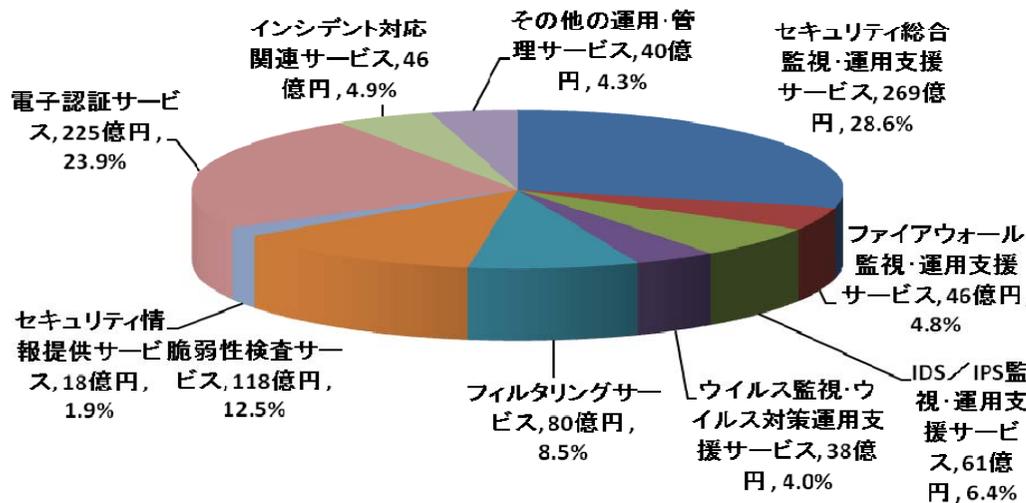
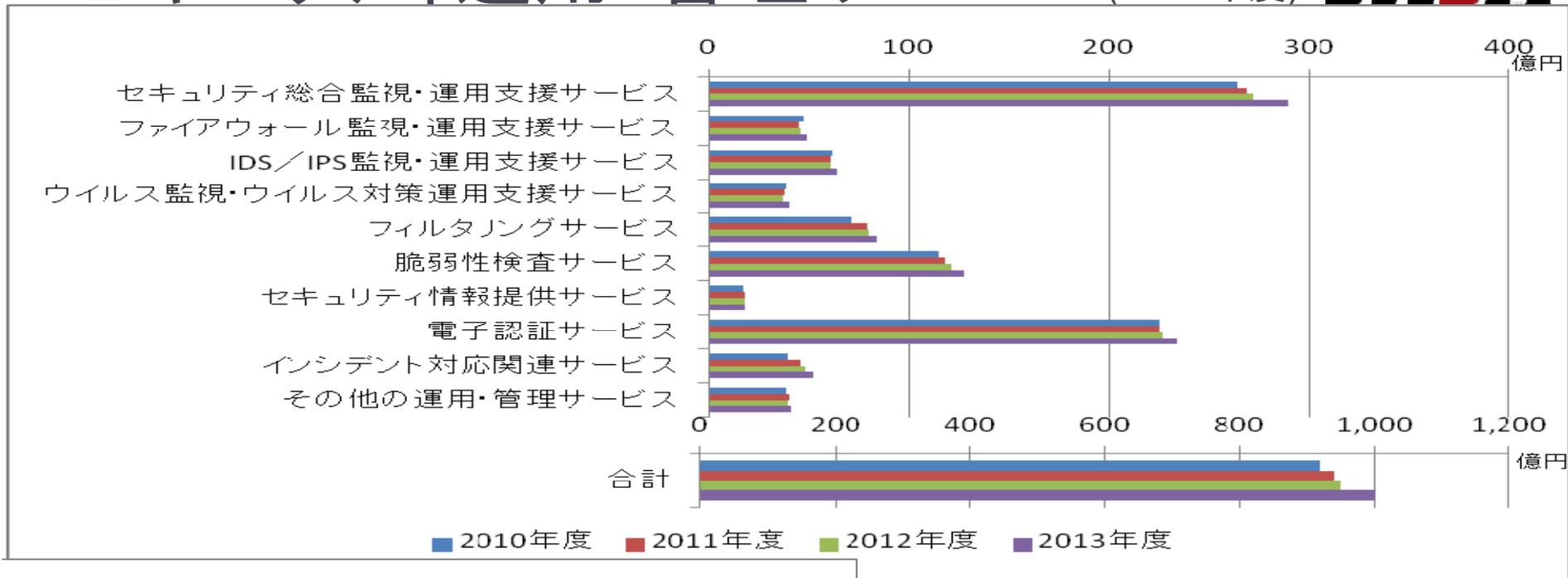
セキュアシステム構築サービス(2011年度)



- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、1200億円前後の規模まで縮小。
- セキュアシステムの構築が止まったわけではなく、セキュリティ目的でのSIが減少し、SIの中でセキュリティも組込むことが当然となって来たため。
- 2011年度は前回調査で1086億円と見たが今回見直した結果1185億円(前年度比-3%)に。
- 震災・不況の影響はあったものの極端に縮小するまで至らなかった模様。2012年は+0.5%に。

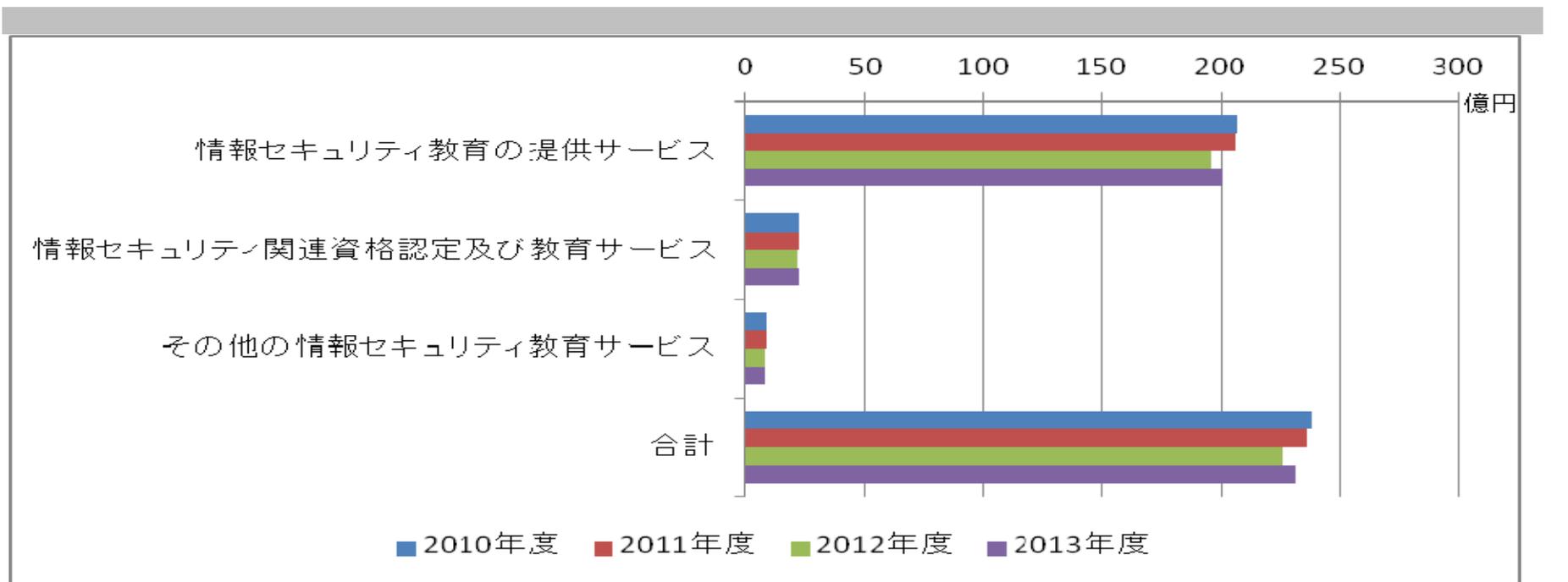


セキュリティ運用・管理サービス(2011年度)

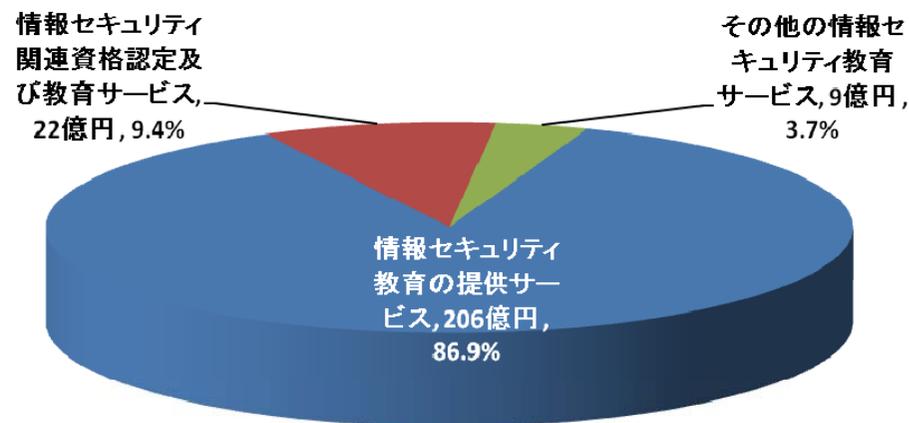


- 全体で1000億円近い大市場に成長した。
- マネージドサービスが52%、プロフェッショナルサービスが24%、電子認証が24%の構成比。
- マネージドサービスはアウトソース志向、プロフェッショナルサービスはインシデント対応で伸びていると見られる。
- Security as a Serviceが立ち上がりつつある。
- インシデント対応は2010-2013平均で10%の伸びと需要増が大きい。脅威拡大・対応充実か？

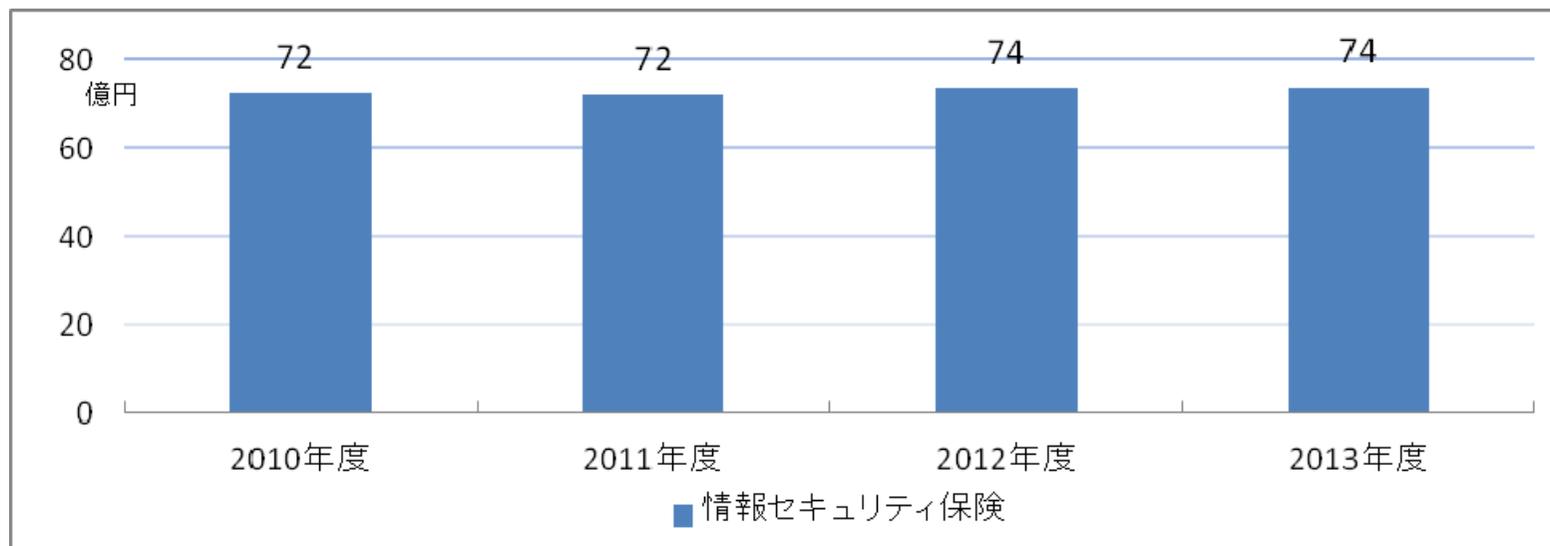
情報セキュリティ教育 (2011年度)



- 2011,2012年とマイナス成長が続き、2013年に回復か。230億円前後の規模感は大きくは変わらず。
- 情報漏洩対策、JSOXなどで2009年度まではやや高く伸びたが、そこである程度一巡した面もあるか？
- 資格取得については経費節減や個人の収入減等の影響で2012年までマイナスが続く。
- 経済の回復に伴って2013年はプラスになると期待。



情報セキュリティ保険(2011年度)



- 情報セキュリティ保険は、ほぼ70億円台で市場規模が安定してきたものと見られる。
- ニーズに対して一巡浸透した後は継続需要が中心となるためと考えられる。
- 2011年は若干マイナス成長となっているが、経済活動規模の停滞の反映であり、誤差に近い程度の変動。
- 2012年にやや上向くのはクラウド、モバイル、SNS等新技術・新サービス浸透の影響か？

いわゆる「トピック」・・・検討中

- ・オープンソースソフトのセキュリティ
- ・Security as a Service
- ・標的型攻撃等最近の脅威
- ・スマートデバイスのセキュリティ
- ・内部脅威(?)

セキュリティ市場調査WG メンバーリスト



アクティブ

2013年1月15日現在

ワーキンググループリーダー

加藤 雅彦 インターネットイニシアティブ株式会社

ワーキンググループメンバ(調査・推計参加者)

菅野 泰彦 アルプスシステムインテグレーション株式会社

福岡かよ子 株式会社インテック

勝見 勉 株式会社情報経済研究所

木城 武康 株式会社日立システムズ

熊谷 裕吾 三井物産セキュアディレクション株式会社

蜂巢 悌史 株式会社km2y

土屋日路親 イーロックジャパン株式会社

秋山 卓司 クロストラスト株式会社

塩見 友規 三井物産セキュアディレクション株式会社

JNSA



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

JNSA

2013年1月25日

Network Security Forum 2013

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

Thanks!

(独)情報処理推進機構 主任研究員
勝見 勉
t-katsu@ipa.go.jp

株式会社 情報経済研究所
代表取締役 勝見 勉
info-economy@xvg.biglobe.ne.jp